

刊夕日七月貳拾



定価一冊五錢... 發行所 常警日新新聞社

幼児の心理と

その取扱

霜田 静志

音に対する要求

以上の如き事實は、さう何時も出逢ふといふものであるまい。

さて嬰兒は毎日々々色々な事に打つかり、自分の力によつて困難を乗り越え、

ノート

無線電話は伊太利青年マル

コニー二十一歳にして實用的無線電信を發明した

出来る。斯うなつて見るともう手を口にする事には興味がない。

嬰兒は此の時既に物を押ししたり、物を掴んだりする事が出来るやうになつて居

る。嬰兒は之等の事を決して教へられて覺えたのではない。彼は全く自分の努力によつて覺えて来た。

床まで屈かない従つて音がしない「ハテ變だな、どうしたのだらう、これはさつと匙の性質が變つたのか知れない」さう思つてえい兒は又落ちて見る。

【朝】味噌汁 小付 やきのり 【晝】大豆 煮付 【晩】あんかけ 豆腐 すり 生姜 玉子 やき そめおろし 茶めし

えい兒は物を掴む事が出来るやうになつたので、今度は何でも興へられたものを手に握る事に非常な興味を見出して居る。

見る、やつぱり音がする。此の時のえい兒の態度は全く科學者が實驗室で物の性質について仔細な検査をする態度と少しも變りはない

ア今度は音がしない、其處でえい兒は怒つてゴム人形を投げた。或はちねて足をバタ／＼させて泣く

「おつぱい」で黙らしてしまふ。折角えい兒が物に對して興味を起しかけて来たの

だん／＼自分の力に自信が出て来る。物をつかむ、叩く投げ、彼は全力を盡して事に當る。

氣に入らない事がある。盛に駄々をこねるやうになる母親がそんなにも子供に對して關心を持つと云ふことは子供の思ふ盡である。

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス。

昭和一ノシク前 電話 〇四三三 〇四三三 〇三三三

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫

忘年会 新年會 料理にお酒に奉仕に御安心のゆきます

全能式電氣治療法 ラヂウム放射線透治療 法紫線療法

伊坂電療院 平町中町二〇

魚凍 國は日本、凍魚はヒノマル 平製氷株式會社

# 紹介所の異風景

## 山なす求人申込 失業者皆無か?

平職業紹介所に於ける去月中の統計を見ると求人側が門戸を開けて就業者を歓迎してゐるにも拘らず反つて肝心の求職が無くて

山を前にして頭を痛めてゐるといふ近年にない珍現象を見せてゐる。即ち求職者はいま需要期の絶頂を控へて黄金時代の好況に踊る常磐各炭山から申込まれた採炭夫百十名を

筆頭に合計二百七名に達する充實さに反し求職者は土工夫の十七名を最高として合計僅かに六十七名で求人者の三分の一にも當らぬ状態であるが就職状況は至つて悪く僅か三十名、之を前月に比較すると

求人数は百四十三の激増、求職者は六名減、前年同期対比は求人百二十三増加、求職者二十四名減少となつてゐる、これは各地に匡救工事、冷室救済工事等が施行されて失業者や農民を霜はしてゐるところへ更に各方面から凶作地救済の意味で

多数の求人申請を殺倒した、めの求人過剰と見

られてゐるが何せ珍らしい現象ではある、職業別成績左の如し

求人	求職	就職
工礦	一〇	一二
土木	一四	一七
商業	四〇	一四
農業	六	三

運輸 四 四 四  
戸戸 二八 三 一  
雑業 五 七 一

### 全國學童展に 學校賞を獲得

平第二小學校は過般東京小學校主催の全國學童成績品展覽會に於いて學校賞(大鏡一ヶ)を獲得したが生徒中の入賞者左記の如くである

- ▲一等(六年)端山多賀子
- ▲二等(四年)大嶺悦子 鈴木智恵子(六年)森祥代子
- 高橋澄子 鈴木スミ

## 凶作の諸縣から 窮民續々押寄す

### 紹介所の情けに縋つて 白い飯の食べれる喜び

凶作の慘害に堪へかねて遠く山形、岩手、新潟等の諸縣から遙々平町を訪つて職業紹介所の情けに縋がる窮民が最近増加して來た殊

## 高麗橋を中心として

### 眞木翁の懐古事談

折角繰り出した道元へ元へと引揚ぐ。平藩の出征者中には、大將永野宗助の百五十石取り、尙高祿の者もあり、其他歴々の高取が、少くなく

は文字通りの收獲皆無の慘狀に加へて早くも白魔跳梁する山形縣西村山郡西山村の故郷を捨て、好況にある常磐炭界に活路を求めんとして來たもので同所の斡旋により警炭に就職したが白い御飯が食へるのは「勿体ない」と

## 鐵道王國の 威力を誇る

### 斷然たる増收振

毎月増收の好調を續けつゝある平驛は去月も亦斷然増收を見せ鐵道王國の威力を誇つてゐる、即ち去月中の成績は

- ▲旅客 乗車人員三九一
- ▲貨物 到着一三三七四
- ▲貨物 發送六〇八九ト
- ▲收入 九三五一圓

ばならなかつたので、其處に自然の無理があり、感情上より豫期せざる難合を來したるものなるべく、父は痛く迷惑に感じたが、先づ之もどうやらさしたる事もなく、それは豫定であつたであらう通り、繰出した道を、元へ／＼と引上げ歸つた。父は對外的には、重用せられても内部に歸つては、重臣等より又々元の輕

見込まれて居る 平商校長出仙 平商校長矢野泰治郎氏は生徒の就職運動の爲め今七日平發午前六時で仙臺市に出張した

## 年賀狀整理に 局員を罐詰

### 激増を見越して 晝夜兼行で没頭

既報平郵便局の年賀郵便は年々増加する傾向があり昨年の引受、配達、中繼の合計百十一萬八千六百三十三通の巨數を更らに本年は突破する見込みなので取扱期間中は局員の内から四十名を

## 柴田團長が 平青年團臨時總會

平青年團長柴田徳二氏は病氣其職に堪へずとて此程辭任届を提出したので昨夜午後六時よりマルトモホールに急據幹部會を開き善後策を協議した結果滿場一致留任を懇望し一同團長宅を訪

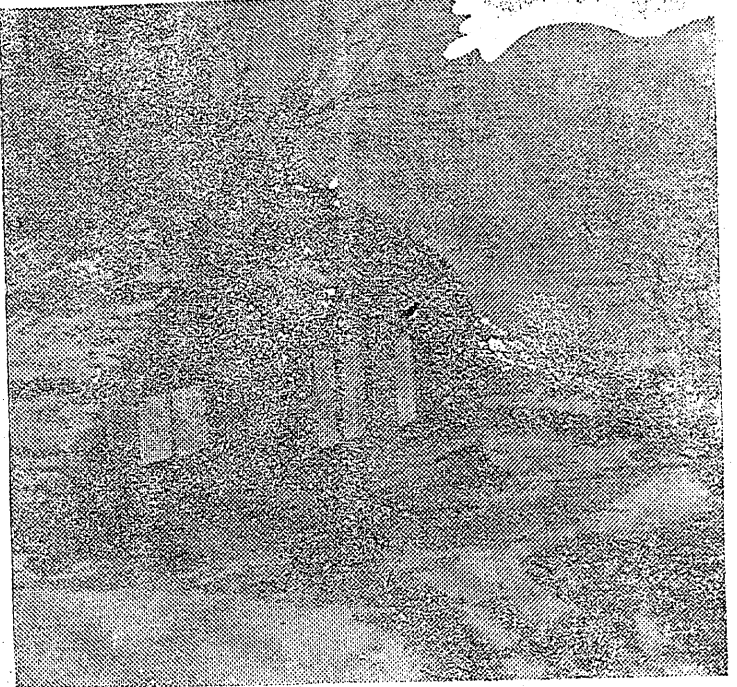
## 作山氏慰勞會

區(平町外十五校校)長會は來る九月午後二時よりときわ亭に於て過般退職江名町助役に榮轉した元赤井第一小學校長作山一校氏の慰勞會を催す由

## 磐女學期考查

磐女第二學期考查は來る十四日より四日間全學年一齋に行れる

初寒の田家、日は暮る、



部下を救はんと

泥水に呑まれる

頌徳碑を建て、  
英霊を永く偲ぶ

古川炭礦の故浅川藤一氏

### 尊者殉職者

去る昭和四年八月好間村古河炭礦に於ける第一新斜坑の大出水の際部下坑夫の避難救出に盡力して入坑者を全部救助せしめながら遂に力盡きて坑底深く濁流に呑まれて殉職した指導夫浅川藤一氏の霊を永遠に偲ぶため同坑ではこの殉職頌徳碑を同坑入口に建てることになった

同所長工学博士下野十朗氏の撰文にかゝるもの  
明春二月盛大な除幕式を舉行併せて法要を営む筈

### 舊幕時代の遺物の堰

改善方請願

玉川村大字南富岡地内藤原川に存る堰は舊幕時代より同村富岡、大原、泉村瀧尻の三部落の灌漑水として毎年農繁期毎に築造されたものであるが昨八年度の藤原

川改修工事の結果川幅一躍十八間に擴張されたため従前の如く土堰では間に合はず今年七、八回も築堤したが小量の降雨でも直ちに崩壊流失するので同地附近にある雁橋の架替擴張工事と併せて工事施行方を泉村長上遠野新重郎氏から平土木監督所長に陳情した

### ボーナスの固り

八千圓轉げ込む

夫れを流し目に見て  
局員が夫々懷中勘定

平郵便局員二百名が年に一度有掛に入る年末賞與！大枚八千圓也が本日局長室に轉げ込んだ全局員の神經はそれに集中し話題を賑して居るが同局は年賀取扱ひのトサクサ騒ぎの前来る十二三日頃諸官衛のボーナスのトップを切つて判任官廿割雇員傭人は各十二、三割と云つた勘定でバラ撒き大抵昨年が大差なくいづれも恵比壽顔で居る

### 家庭料理講習開催

子青年團、婦人會、國防婦人會聯合主催の「新しい家庭料理講習會」は十四、五兩日午前十時から田町藤田女學校講堂で催されるが講師は東京市家庭食物研究所主事小針俊孝氏多數婦人の参加を歓迎してゐる、前記三團體會員は十錢その他五十錢

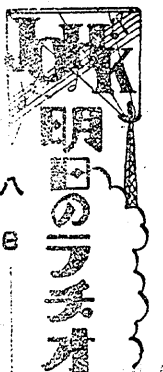
### 逝く年の...

慌しさの中に

家出相次ぐ

年暮れる慌しさの中に人妻女給、學生の家出、家出、家出相次ぐ——けふ平署に願出た搜索願四件——

七春松妻松本ナツエ(三)は去月二十九日神戸市生れの香具師軍帽の久保こと久保兼光(三)に誘惑されて家出したが平町にゐること判明したから取捕へて呉れと夫



今晚も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話(俳句を作るには)  
(二) 友納友次郎  
後六、二五 基礎英語講座  
(三五) 岡倉由三郎

後七、三〇 講演「行き詰りこそ絶好の機会」  
西田 天香  
後八、〇〇 琵琶  
「九連城」 吉水 錦翁  
後八、三〇 寄席中繼  
柳家小さん外

春松から

### 他人の働さを次ぎ

横着雑夫平署に檢舉

内郷村大字宮字蛭子高橋七兵衛方同居兵庫縣生野町野山生れ磐炭炭坑難夫佐伯辰治(三)は六日午前二時頃磐炭炭坑販賣所から自己名義記入の質銀證明書及び同僚の鈴木留吉外一名の勞銀二十五圓の證明書を窃取した足で宮坑販賣所に至り白米四斗十二圓四十錢、糯米十五見込み

### 鯛が石鱈に化ける

大漁續きに小名濱で加工

東京方面へ出荷

最近郡下各濱は目下鯛が豊漁を續けてゐるが小名濱町では之を加工する洗濯石鱈原油の製造激増し目下盛んに東京方面へ出荷しつつある

### 無罪言渡

證據不充分

私文書偽造行使、窃盜罪と

して清田検事より懲役一年六ヶ月を求刑された玉川村大字島宇島一四農鈴木一夫(三)に對する判決公判は昨日午後一時より平區才判所に於て中島判事係り清田検事立會、門傳、武田、眞木各辯護士列席の下に開廷されたが判事より證據不充分の廉により無罪を言渡された

後九、三〇 時報  
氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前七、一〇 基礎獨語講座  
(三七) 岡本修助  
前七、三〇 聖典講義(七)  
文學博士 長井真琴  
前八、〇〇 家庭講座  
「儀禮と袴に就て」長沼一馬  
後八、〇〇 五筆曲と尺八  
佐々木松波外  
市杉並區上荻窪町坂井賢二氏から  
後二、〇〇 講演「佛誕二千五百年の所感」文學博士 井上哲次郎  
後六、〇〇 子供の時間  
お話 子守唄お話俱樂部  
伊東薫  
後六、二五 英語講座(六の六) 岡部次郎  
後七、三〇 獨唱と合唱  
武岡鶴代  
後八、二〇 義太夫 鷗山  
古跡松竹本叶太夫  
後九、〇〇 時事解説



